

HISTORY of SYB & K.Takeda

- 1986** オリンピックスタッフ株式会社に入社。ゴルフ業界人としての人生がはじまる。同年、クラブデザイナー竹林隆光と初めて顔を合わせ、その丁寧な説明ぶりに感銘を受ける。
- 1989** 株式会社ベンホーガンに移り翌年クラブ開発責任者に就任。HOGAN USAでのミーティング時、今は亡きMr. Ben Hoganに直接教えを乞う。“左手は鋼鉄のように、右手はガスペダルを踏む時のように”という言葉もらった。
- 1990** HOGAN Mars 鑄造キャビティアイアンを株式会社フォーティーン竹林隆光氏に設計を依頼。
- 1992** 竹林隆光氏の思いを具現化するパーツメーカー「株式会社コンセプト」を設立。開発・営業部長に就任。こだわりの高いゴルファーに認められるSYBブランドを確立。
今は亡きクラブデザイナー竹林隆光氏からは、クラブ作りの基礎はもとより、ウエイトフロー & 重心フローフィッティングを学ぶ。
- 2015** 竹林イズムの継承を目的に、コンセプト株式会社を設立。

僕が
思い出す
30年間の
数ある
竹林氏
語録より

「大手のクラブメーカーさんと同じ工程を経て作られたパーツを販売したいんだよね。じゃなきゃ、買う人が可哀想だよ。」

「ストーリー性のない商品は売れないよね～！たまたま1発当たる事は有るけど、永く支持されないしね！」

「ゴルファーにフィーリングとして語られてきた事を数値化して分かり易くしたい。でも最終テストのゴルファーの打ったフィーリングは、大事だよね！」

「今日BESTなクラブ選んじゃうと、明日になったらBESTなクラブじゃなくなっちゃうからさ、だからBETTERなクラブ選びが良いんだよね！」

「ボールが進化するとクラブが進化してスイング理論が進化する！いつもこの順番で変わるよね。」

「作った商品は自分の子供と一緒にだから、きちんと名前を付けてあげたいね！」

「常識や普通って誰が決めたの？これが本当に正しいのか疑うところから始めないと新しいデザインの物って生まれてこないよね。」

「易しいクラブを作ると最初に手を出してくるのって、プロなんだよ。」